

2019年度 決算説明会

株式会社ツムラ

2020年5月12日(火)

本日の内容

① COVID-19対策への取り組み

② ESG経営とサステナビリティ・ビジョン

③ 中国事業アップデート

④ 2019年度 決算

⑤ 2020年度 業績予想

CEO
加藤

CFO
半田

2019年度 決算説明会

- ① COVID-19対策への取り組み
- ② ESG経営とサステナビリティ・ビジョン
- ③ 中国事業アップデート

株式会社ツムラ

代表取締役社長CEO 加藤 照和

2020年5月12日(火)

本日の説明内容

- ① COVID-19対策への取り組み
- ② ESG経営とサステナビリティ・ビジョン
- ③ 中国事業アップデート
- ④ 2019年度 決算
- ⑤ 2020年度 業績予想

COVID-19の影響：中国グループ企業活動

原料生薬の供給体制

原料生薬の供給に影響なく、中国グループ企業はすべて通常稼働

- ✓ 生産に必要な原料生薬を計画的に輸出
- ✓ 一部生薬の需要増（COVID-19関連中薬）、今春の播種状況

天津盛実百草は3月にグループ化

漢方エキス末の製造・供給

現時点では、影響少なく年間計画生産量を確保できる見通し

- ✓ 上海津村製薬は早期に再開・通常稼働。エキス輸出も順調
- ✓ BCP（事業継続計画）に基づき日本と連携し担当処方生産

中国グループ社員：感染者なし

【1/22】中国新型肺炎対策委員会を設置（委員長：中国総代表常務執行役員）

【2/11～18】上海津村・深圳津村・盛実百草再開 【3/20】津村盛実建設工事再開

COVID-19対策への支援活動

天津盛実百草の支援活動(政府要請)



天津盛実百草より湖北省黄冈市中医医院に中薬飲片「清肺排毒湯」を寄贈

COVID-19感染防止対策への支援活動

【1/29】医療用マスク・ゴーグル・防護服等調達目的で中国大使館に500万円寄付

COVID-19の影響：日本国内での事業活動

国内生産・物流体制

現時点では、生産関連拠点・物流センターはすべて通常稼働

- ✓ BCP(事業継続計画)に基づいた優先処方・需要増処方の計画生産への対応
- ✓ 同上処方の計画外生産による製品在庫積み増し
- ✓ 長期処方動向にも生産対応

現時点では、安定供給に支障なし

漢方製剤の処方動向

漢方処方医によるCOVID-19に対する漢方治療の考え方などの情報発信に伴う特定処方の需要増(3月後半～4月)

- ✓ 日本感染症学会HPで公開された小川恵子先生(金沢大学)の特別寄稿に関連する処方他
- ✓ 中国新規中薬「清肺排毒湯」に関連する処方(OTCを含む)

COVID-19に関する漢方治療の情報発信

3/9

日本感染症学会HP

小川恵子先生(金沢大学附属病院漢方医学科)
特別寄稿「COVID-19に対する漢方治療の考え方」
医療用漢方製剤での代用方法が取り纏められる

4/18

日本医事新報社HP

渡辺賢治先生(元慶應大学漢方医学センター長)他
緊急寄稿
「新型コロナウイルス感染症に対する漢方の役割」
漢方医学での有用性が考察として取り纏められる

4/18

日本東洋医学会HP

高山 真先生(東北大学漢方内科)他
後ろ向き観察研究:COVID-19患者に対する対症療法
と重症化との関連性を明らかにする

COVID-19に対する漢方治療研究への支援

当社として漢方治療研究への全面的な支援

4/6

研究支援協力要請

日本東洋医学会（伊藤隆会長）より、COVID-19に対する漢方治療に関する研究支援の協力要請
当社として研究を全面支援していくことを決定（4/8）

4/22

業界紙掲載

薬事日報「広がる新型コロナ薬開発-製薬各社、ワクチンなども」に“漢方薬メーカーのツムラも新型コロナウイルスを含むインフルエンザ疾患を対象とした医療用漢方製剤の医師主導臨床研究に対する支援を行う”と紹介

他

その他研究支援

ツムラ医療用漢方製剤の無償提供（予定）

COVID-19拡大・継続に伴う影響度合いについて

漢方関連

- ✓ 漢方処方医のCOVID-19に対する漢方治療の情報発信に伴う関連処方の需要増(第1四半期)
- ✓ 心身全体のバランスを整え、自然に治癒する力を高め症状の改善を促す漢方への関心の高まり

外部環境

- ✓ 通院・受診控えやアクセス制限による患者数減少傾向
- ✓ 慢性疾患等の長期処方増加傾向と通院回数の減少傾向

営業活動

- ✓ MRの対面での情報提供不足
- ✓ 重点施策の未実施・遅れ

COVID-19拡大の収束時期や第2波・3波の感染拡大の可能性を見通せないことから、この影響度合いについて業績予想には織り込んでいない。外部機関の市場推計や当社実績・予測から判断し、年間売上に対して2~4%程度マイナス影響の可能性がある。

本日の説明内容

① COVID-19対策への取り組み

② ESG経営とサステナビリティ・ビジョン

③ 中国事業アップデート

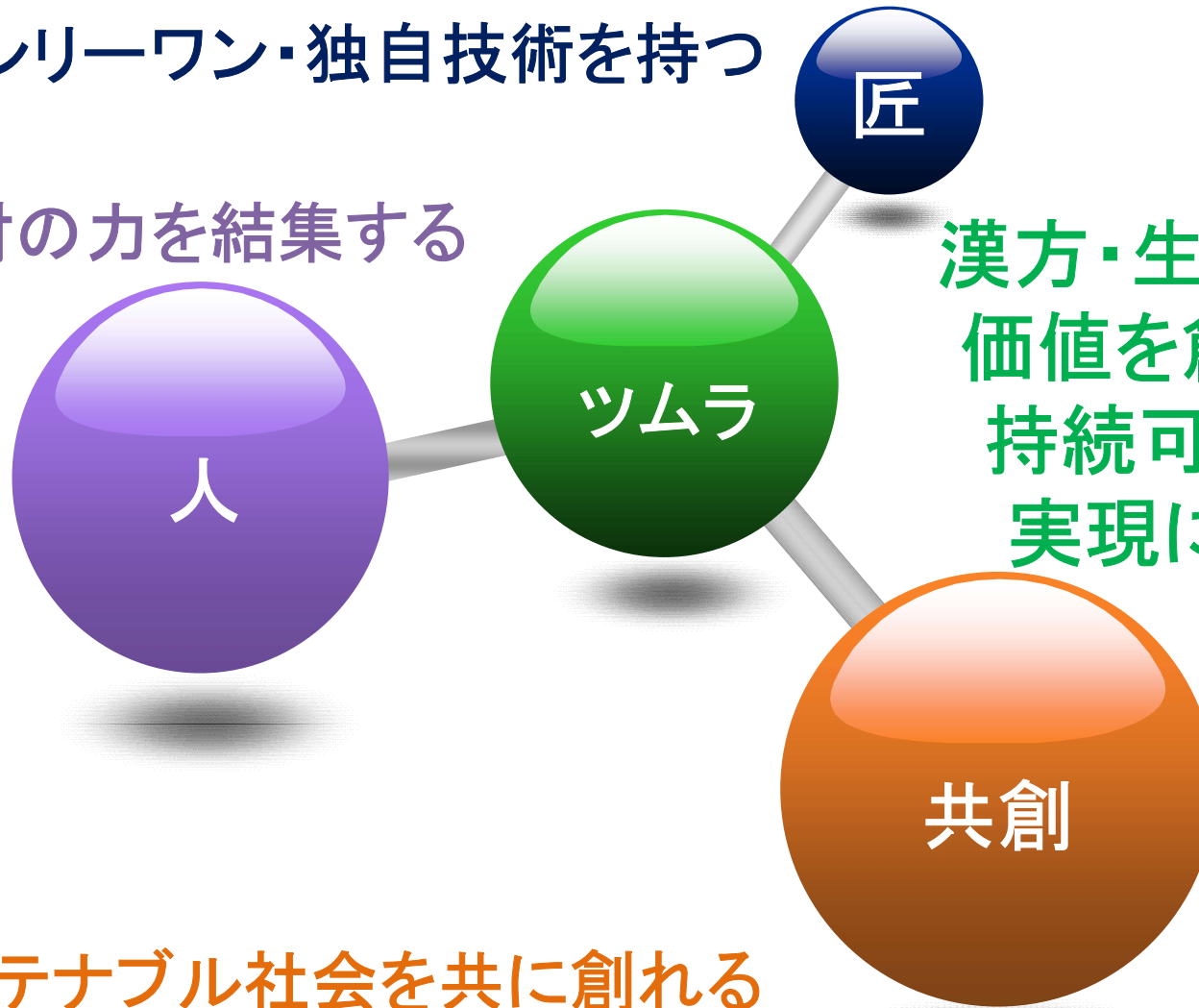
④ 2019年度 決算

⑤ 2020年度 業績予想

ESG経営 と サステナビリティ・ビジョン

オンリーワン・独自技術を持つ

多様な人財の力を結集する



漢方・生薬事業で
価値を創造し
持続可能な社会の
実現に貢献する

サステナブル社会を共に創れる

“漢方・生薬事業”で価値を創造し医療・社会に貢献する



創業者：社会公益の一端となる意義ある事業
2代重舎：漢方は“非科学的”ではなく“未科学的”

“漢方薬”≠“合成薬”という価値の創造と医療への貢献

“漢方薬”は心身全体のバランスを整え、自然に治癒する力を高めることで症状の改善を促す



COVID-19に対する医療用漢方製剤の有用性探索

日本東洋医学会他からのCOVID-19に対する漢方研究支援要請に対して、全面的な協力を実施することにより、ツムラ医療用漢方製剤の有用性の探索を行う



オンリーワン・独自技術で新たな価値と市場の創造



平安津村製造・販売プラットフォームによる市場創造

例) 安心・安全で高品質な中薬の製造・販売



中国平安 PING AN

品質・技術・情報



金融・ITの総合力
規模、認知度



平安津村

生薬PF

製造PF

販売PF

分析・研究

3 すべての人に
健康と福祉を



12 つくる責任
つかう責任



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



独自の栽培研究技術で自然環境保護・循環型社会を実現

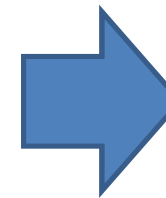
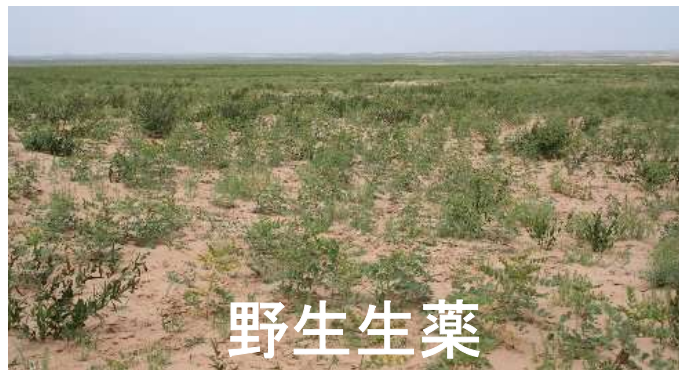


平安津村生薬プラットフォームによる栽培地の拡大

例) 森林と水の保全 (自然保護)



例) 野生生薬の栽培化 (環境保全・循環型社会)

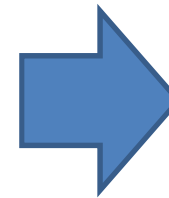


生薬契約栽培が貧困を克服しサステナブル社会を共創



平安津村生薬プラットフォームによる貧困地域栽培

例) 大黄栽培の成功事例 (地域経済への貢献・雇用創出)



貧困地域 (山間地)
粗末な住宅
上下水道が不整備
農家の低収入・貧困
少数民族の就業難

地域経済への貢献
住宅の整備
安全な水とトイレ
農家の収入安定
雇用創出

障がい者の皆さんによる高品質な生薬栽培・加工・研究



人

夕張ツムラ「社会福祉法人はるにれの里」との共創



共創

例) 北海道石狩市「てみるファーム」における生薬栽培



蘇葉の栽培

高品質な蘇葉の栽培
トップレベルの加工技術
技能習得レベルアップ
生薬栽培への継続就業



茯苓
栽培研究

室内での茯苓栽培研究
菌床栽培技術の応用
栽培技術の基盤確立
実用化に向けた研究



8 働きがいも
経済成長も



10 人や国の不平等
をなくそう

本日の説明内容

- ① COVID-19対策への取り組み
- ② ESG経営とサステナビリティ・ビジョン
- ③ 中国事業アップデート**
- ④ 2019年度 決算
- ⑤ 2020年度 業績予想

中国事業ビジョン

中国国民の健康への貢献／原料生薬の安定確保

平安津村グループ

～中国で最も信頼される中薬企業に～

2027

売上高：100億元
(中国事業ビジョン 売上イメージ)

2021

売上高：2.4億元
(中国事業中期経営計画)

中成薬事業を
柱にする

- ・ 生薬PF ※を通じたビジネスの展開
- ・ 「薬食同源」製品、飲片等を販売

2018

※PF：プラットフォーム

2020年2月28日 『平安津村有限公司による天津盛実百草中薬科技有限公司の持分取得に関する契約締結』 3月完了

■資本提携の目的

- 1)日本輸出用原料生薬の安定供給体制の強化
- 2)中薬業界での経験豊富な人財獲得による中国事業の拡大
- 3)中国事業用(中成薬等)原料生薬の安定供給体制の強化

当社グループと盛実百草のノウハウを結集し、
原料生薬の安定供給体制を強化
中国における中薬材(原料生薬)および飲片(刻み生薬)
事業等の拡大を推進し、確固たる地位を築く

生薬プラットフォームの構築

ツムラ・平安津村

生薬関連技術の共有

外販ルートの開拓

生薬プラットフォーム

深圳津村

盛実百草

日本向け
原料生薬

中国向け
原料生薬

中成薬用
原料生薬

飲片
(刻み生薬)

薬食同源製品

NEXTステージ

2027

売上高：100億元
(中国事業ビジョン 売上イメージ)

中成薬進出

M&A
古典処方への
アプローチ

販売体制確立

天津工場

生産体制確立
2022年稼働予定

生薬PF

原料生薬の
安定供給体制強化

分析研究C

中成薬事業を
柱にする

2019

生薬PFを通じた生薬の販売

2021

売上高：2.4億元
(中国事業の中期経営計画)

2019年度 決算説明会

④ 2019年度 決算

⑤ 2020年度 業績予想

株式会社ツムラ

取締役常務執行役員CFO 半田 宗樹

2020年5月12日(火)

本日の説明内容

- ① COVID-19対策への取り組み
- ② ESG経営とサステナビリティ・ビジョン
- ③ 中国事業アップデート
- ④ 2019年度 決算**
- ⑤ 2020年度 業績予想

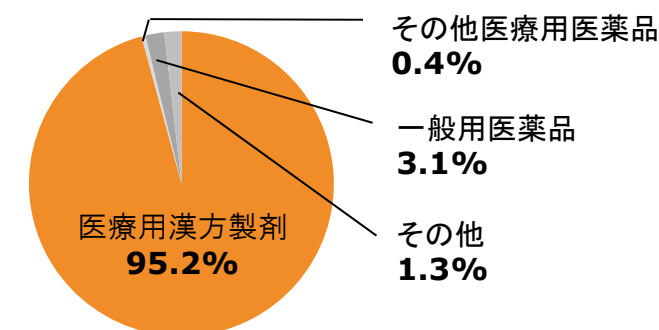
2019年度 決算の概要

(百万円)

	2019年度 計画	2019年度 実績	達成率	2018年度 実績	前期比	
					金額	伸長率
売上高	125,000	123,248	98.6%	120,906	2,341	1.9%
営業利益 (営業利益率)	17,000 (13.6%)	18,876 (15.3%)	111.0%	18,520 (15.3%)	356	1.9%
経常利益	18,000	19,649	109.2%	19,702	△52	△0.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,300	13,765	111.9%	14,593	△828	△5.7%

	2019年度 計画	2019年度 実績	2018年度 実績
配当金 (1株当たり)	64円	64円	64円

売上高構成比



2019年度における重要な子会社の異動

連結子会社

平安津村有限公司

出資比率
80%

天津盛実百草中薬科技有限公司

盛実百草薬業有限公司、他4社

事業内容: 中薬材および飲片の生産、製造、販売等

企業結合日	2020年3月30日(みなし取得日 2019年12月31日)
取得した持分比率	80%
連結財務諸表に含まれる 取得企業の業績	2019年度は貸借対照表のみを連結 損益計算書には取得企業の業績は含まれておりません
のれんの金額	765百万人民元(12,016百万円) 暫定的に算定された金額
のれんの償却方法及び償却期間	20年間にわたる均等償却(年間約600百万円)

企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

	(百万人民元)	(百万円)
流動資産	1,674	26,292
固定資産	365	5,793
資産合計	2,039	32,086
流動負債	1,212	19,029
固定負債	241	3,788
負債合計	1,453	22,818

決算のポイント

営業利益増益、特別損失計上により増収減益の決算
売上高は計画未達成ながら、すべての利益計画を達成

連結売上高	123,248 百万円	計画達成率	98.6%	前期比	+1.9%
-------	--------------------	-------	--------------	-----	--------------

- 医療用漢方製剤129処方 of 売上高は、前期比+1.8%、金額ベースで66処方が伸長しました。
- OTC医薬品の売上高は、前期比+13.9%伸長しました。

営業利益	18,876 百万円	計画達成率	111.0%	前期比	+1.9%
------	-------------------	-------	---------------	-----	--------------

営業利益率	15.3 %			前期比	+0pt
-------	---------------	--	--	-----	-------------

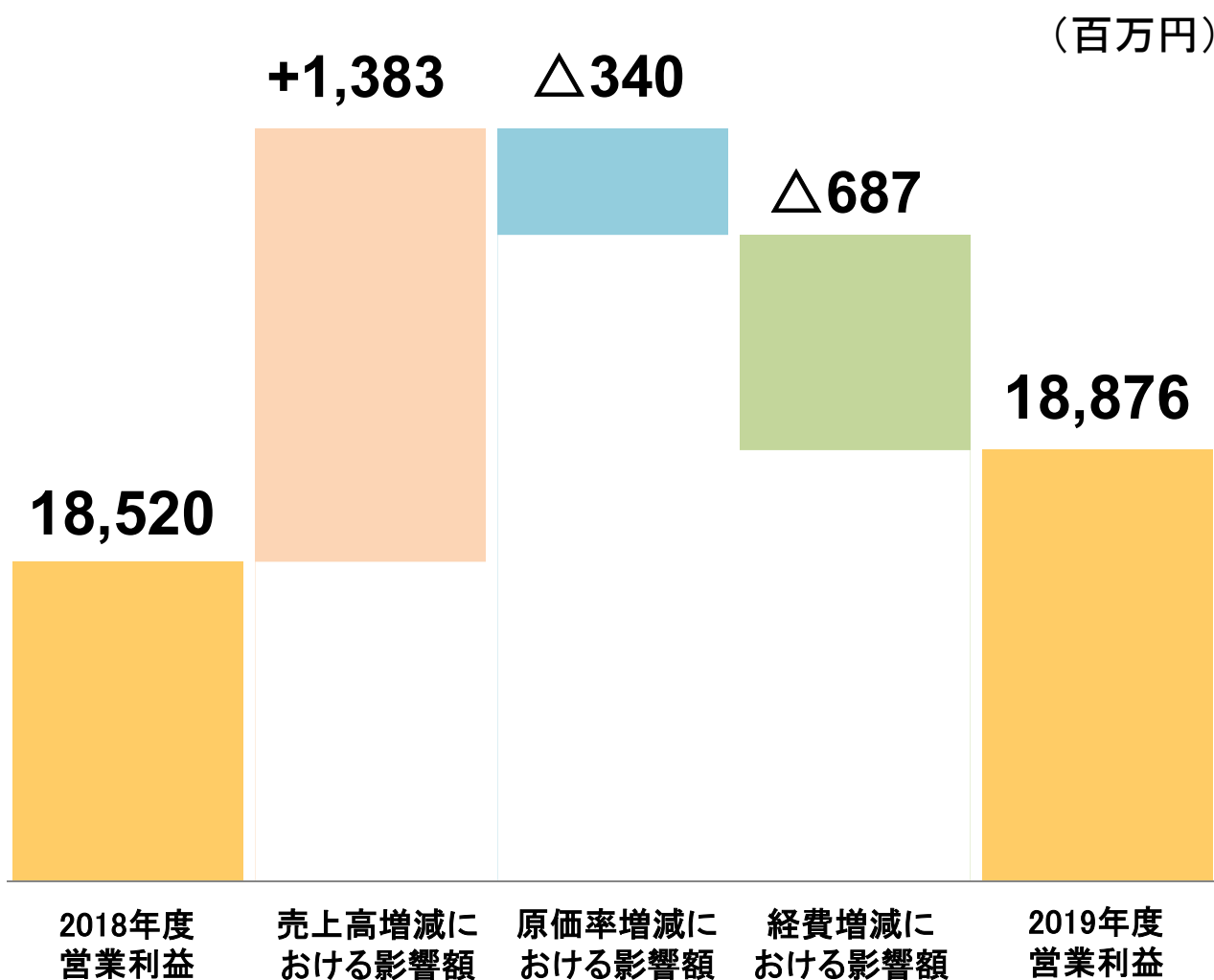
- 売上原価率は、生薬関連コストは低減したものの、売上構成により41.2%(前期比+0.3pt)となりました。計画に対しては、生薬関連コストの低減により△0.6ptとなりました。
- 販管費率は、COVID-19拡大による活動自粛に伴う経費の未消化等により43.5%(前期比△0.3pt)となりました。計画に対しては、主に研究開発費や経費の支払い時期のズレ等により、△1.1ptとなりました。

経常利益	19,649 百万円	計画達成率	109.2%	前期比	△0.3%
------	-------------------	-------	---------------	-----	--------------

親会社株主に帰属する 当期純利益	13,765 百万円	計画達成率	111.9%	前期比	△5.7%
---------------------	-------------------	-------	---------------	-----	--------------

- 「上海上薬津村製薬有限公司」の解散および清算に伴う関係会社出資金評価損431百万円を特別損失として計上したことにより、前期と比べ、5.7%減少しました。

営業利益の増減要因(前期比較)



(百万円)

原価率増減における影響額 内訳	
売上構成	△492
生薬費	398
加工費	△246

経費増減における影響額 内訳	
販売関連費用	△185
研究開発費	△344
人件費	△287
その他	129

財務状態

バランスシート

(百万円)

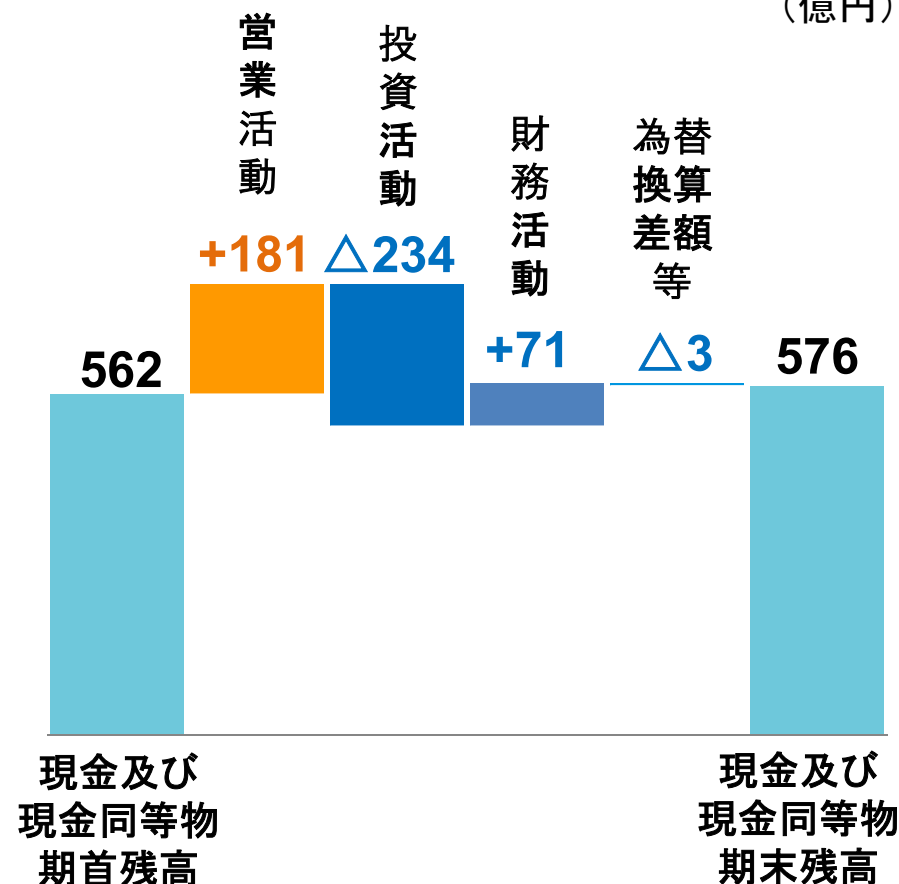
	2018年度	2019年度	増減額
資産合計	287,322	311,042	23,719
流動資産	190,027	194,288	4,261
固定資産	97,295	116,753	19,458
負債合計	81,181	97,993	16,812
流動負債	33,320	48,476	15,156
固定負債	47,861	49,516	1,655
純資産合計	206,141	213,048	6,907
自己資本比率	70.2%	66.0%	△4.2pt

(百万円)

B/S	2018年度	2019年度	比較増減
たな卸資産	51,808	73,310	21,502
(商品及び製品)	9,382	10,338	955
(仕掛品)	11,125	12,418	1,293
(原材料及び貯蔵品)	31,299	50,553	19,254

キャッシュ・フローの状況

(億円)



なお、原材料及び貯蔵品の増加19,254百万円のうち、16,236百万円は盛実百草の資産分

長期経営ビジョン実現へのロードマップ



戦略課題

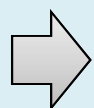
1. 漢方市場の持続的拡大とプレゼンスの確立
2. 中国における成長投資と事業基盤の構築
3. 新技術を活用した生産性の向上 - AI、ロボット化、RPA -
4. 理念経営による企業文化の醸成と多様な人財の開発
5. 漢方バリューチェーンを通じたSDGsの推進

漢方医学の確立

漢方を処方する医師数

医師の2人に1人が10処方以上の漢方を処方する状態

第3期中期経営計画(2019~2021年度):3年間で24,000人増加



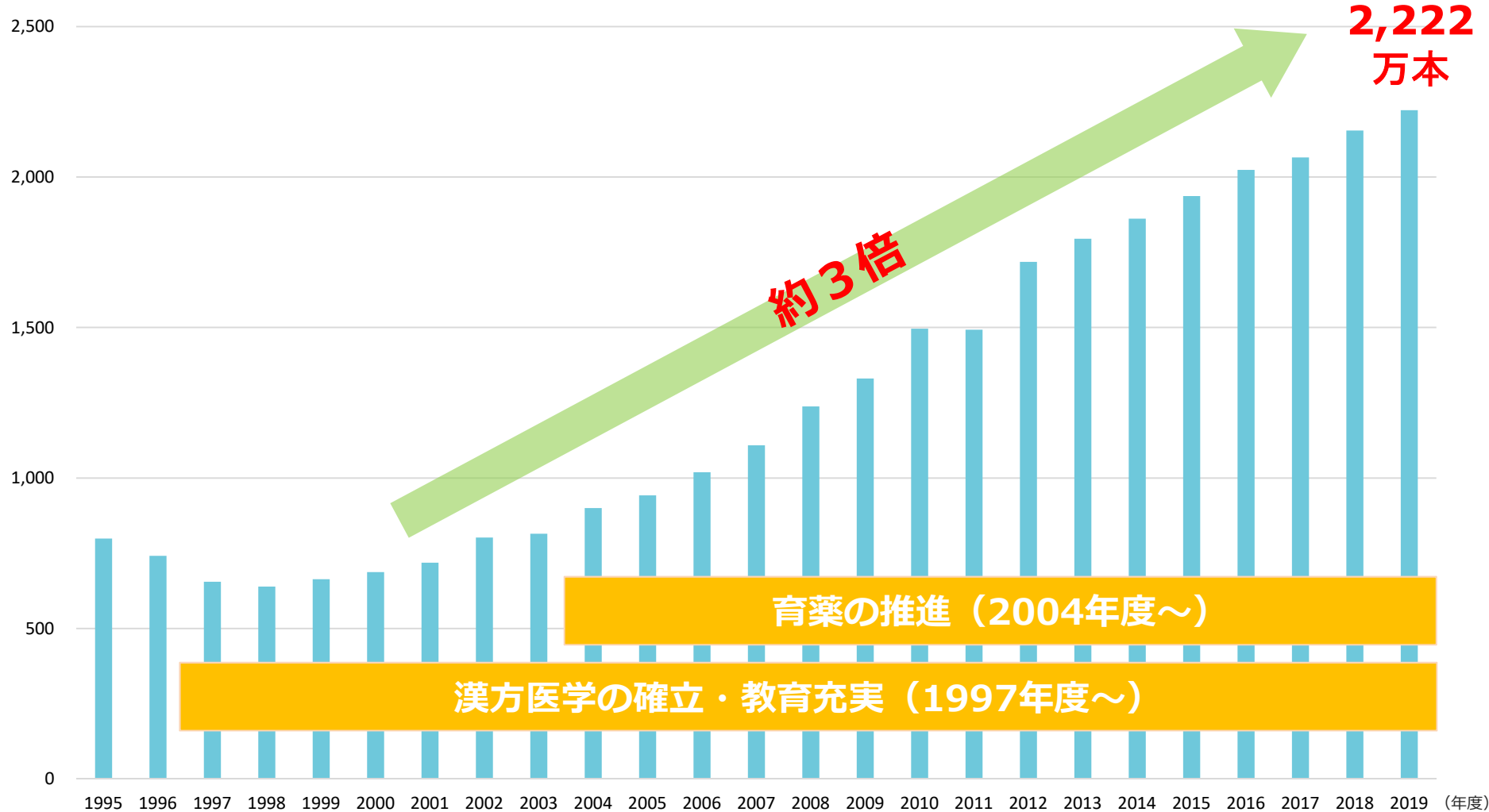
2019年度目標8,000人に対して約9,900人増加、順調な滑り出し

漢方医学教育3本柱

漢方医学教育実施大学数	座学	81大学	/ 81大学
	臨床実習	58大学	/ 81大学
学内漢方勉強会		80大学	/ 81大学
漢方外来		80施設	/ 81施設

医療用漢方129処方 実売数量推移

万本(換算)



1本とは、標準包装1箱のことで、1箱は9週間分入

第1期中計

第2期中計

第3期中計

医療用漢方製剤(育薬処方・Growing処方)売上高

(百万円)

	売上順位	製品No./処方名	2018年度	2019年度	前期比	
育薬処方	1	100 大建中湯	10,430	10,357	△72	△0.7%
	2	54 抑肝散	7,664	7,774	110	1.4%
	3	43 六君子湯	7,256	7,370	114	1.6%
	9	107 牛車腎気丸	3,625	3,603	△22	△0.6%
	22	14 半夏瀉心湯	1,350	1,390	39	3.0%
育薬処方合計			30,327	30,496	169	0.6%
Growing処方	4	41 補中益気湯	7,158	7,113	△45	△0.6%
	5	68 芍薬甘草湯	5,097	5,202	105	2.1%
	6	29 麦門冬湯	4,734	4,839	104	2.2%
	7	24 加味逍遙散	4,539	4,598	59	1.3%
	8	17 五苓散	4,124	4,491	367	8.9%
Growing処方合計			25,653	26,245	591	2.3%
育薬処方・Growing処方以外の119処方 合計			59,274	60,605	1,331	2.2%
医療用漢方製剤 129処方合計			115,255	117,347	2,092	1.8%

医療用漢方製剤129処方薬価改定率

	2019年10月	2020年4月
薬価改定率	△1.8%	△0.3%

消費増税分を含めると0%

大建中湯、補中益気湯の未達要因・対策

大建中湯

【これまでの主な訴求ポイント】

消化管運動亢進作用

施策拡充

消化管運動亢進
プラス 腸管血流改善作用

説明会施策の影響 ・大学病院 説明会実施98.8%
・臨床研修指定病院 説明会実施77.5%

2020年度の施策

- ① 効能効果『腹部膨満感』の啓発活動による市場の顕在化
- ② 外科周術期での定着・拡大を目指した大建中湯の様々な作用メカニズムからのアプローチ

消化管運動亢進作用
腸管血流改善作用
抗炎症作用
腸内細菌叢改善作用

補中益気湯

上期: 夏季天候不良 下期: 風邪が流行しなかったことによる売上減

漢方医学的アプローチの強化

抑肝散、六君子湯の営業施策の進捗状況

六君子湯

処方	2019年度	2020年度	2021年度
六君子湯	ターゲティング施策…「DREAM Study※」資料等を用いた情報提供		
六君子湯	消化器内科を中心とした学術講演会の実施 Web講演会・リアル講演会の展開		
半夏瀉心湯	新たなエビデンス情報の資料化→デュアルプロモーション		

上部消化管疾患治療薬として更なるプレゼンスの確立

※DREAM Study:機能性ディスぺプシア患者に対する六君子湯の有効性および安全性に関する多施設二重盲検比較試験

抑肝散

抑肝散 単独プロモーション

施策拡充

認知症の周辺症状に応じた処方提案

■抑肝散

認知症サポート医
レセプト化

■採用施設状況

54抑肝散採用施設	44,044軒
108人参養栄湯採用施設	21,960軒
両剤採用施設	20,623軒

活動が奏功し、順調に推移。
今後も活動強化を継続する

2019年度 eプロモーション実施状況

Kampo Mega Web講演会

テーマ	講演者	開催日	視聴者数
「臨床医に漢方はMUSTです」	新見 正則 先生 (帝京大学医学部)	2019. 9.25	17,878名
「漢方エキス剤を使いこなす」	新見 正則 先生 (帝京大学医学部)	2019.12.16	18,855名
「急性気道感染症と漢方薬」	鍋島 茂樹 先生 (福岡大学医学部)	2020. 3.23	17,354名

その他のeプロモーション

配信形式	開催回数	のべ視聴数
ワンポイント動画配信	4回	58,196名
Webセミナー(会場集客型)	5回	11,295名

Web講演会等のeプロモーションは、未面談医師へのアプローチを可能にし、情報提供チャネルとして有効であった。
2020年度においても、相乗効果を狙えるMR活動とeプロモーションを推進する。

2020年度 情報提供活動

重点課題	実行テーマ
eプロモーション	Web講演会、オンライン面談など、新たなアクセスの実施 ➡MR活動を最大化する最適なコミュニケーションの実現
エリア活動	地域特性・施設の特徴を考慮した、きめ細かい情報提供 ➡漢方を学びたい医師へのニーズに応えるために、 「卒後漢方医学入門セミナー」などエリア企画の開催

漢方の情報ニーズに対し、対面での活動に加え
 eプロモーション等の情報提供活動により、
 『漢方市場の持続的拡大』を図る

※ COVID-19の状況を鑑み、ニーズに応じた企画をフレキシブルに対応する。

販売施策

- 高齢者関連領域、がん領域（支持療法*）、女性関連領域を重点3領域と位置付け、集中的に活動する
- 育薬処方、Growing処方、重点3領域の関連処方による営業アプローチを展開する

高齢者関連領域

精神・神経疾患

抑肝散 **育**

+ 関連処方

呼吸器疾患

麦門冬湯 **G**

+ 関連処方

循環器疾患における周辺症状

五苓散 **G**

+ 関連処方

消化器疾患

六君子湯 **育**

大建中湯 **育**

補中益気湯 **G**

+ 関連処方

がん領域

（支持療法）

副作用の軽減など

六君子湯 **育**

半夏瀉心湯 **育**

牛車腎気丸 **育**

+ 関連処方

女性関連領域

婦人科疾患

加味逍遙散 **G**

+ 関連処方

その他の疾患・症状など

大建中湯 **育**

五苓散 **G**

+ 関連処方

育 育薬処方：
近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンス（科学的根拠）を確立する処方

G Growing処方：
育薬5処方に続く戦略処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築（安全性・有効性データ等）により治療ガイドライン掲載を目指す処方

* 支持療法：
がんそのものに伴う症状や、がん治療による副作用の症状を軽減させる等の治療

本日の説明内容

- ① COVID-19対策への取り組み
- ② ESG経営とサステナビリティ・ビジョン
- ③ 中国事業アップデート
- ④ 2019年度 決算
- ⑤ 2020年度 業績予想

2020年度 業績予想

(百万円)

	2019年度実績	2020年度予想	前期比	
			金額	伸長率
売上高	123,248	132,000	8,751	7.1%
営業利益 (営業利益率)	18,876 (15.3%)	17,000 (12.9%)	△1,876	△9.9%
経常利益	19,649	17,900	△1,749	△8.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,765	13,000	△765	△5.6%

営業利益マイナス要因の主な内訳

研究開発費の増加(2019年度からの期ズレ分を含む)	12.3億円	
盛実百草の連結に伴う経費の増加	11.5億円	
盛実百草の連結に伴うのれんの償却	6.0億円	合計 29.8億円

天津盛実百草の2019年度業績

売上高	166億円
売上総利益	39億円
営業利益	27億円

※2020年度の利益は、全額未実現利益として消去

2020年度 業績予想

(百万円)

	2019年度実績	2020年度予想	前期比	
			金額	伸長率
売上高	123,248	132,000	8,751	7.1%
営業利益 (営業利益率)	18,876 (15.3%)	17,000 (12.9%)	△1,876	△9.9%
経常利益	19,649	17,900	△1,749	△8.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,765	13,000	△765	△5.6%

	2019年度実績	2020年度予想
配当金(1株当たり)	64円	64円
EPS	179.96円	169.92円
ROE	6.8%	6.2%

COVID-19感染症による影響

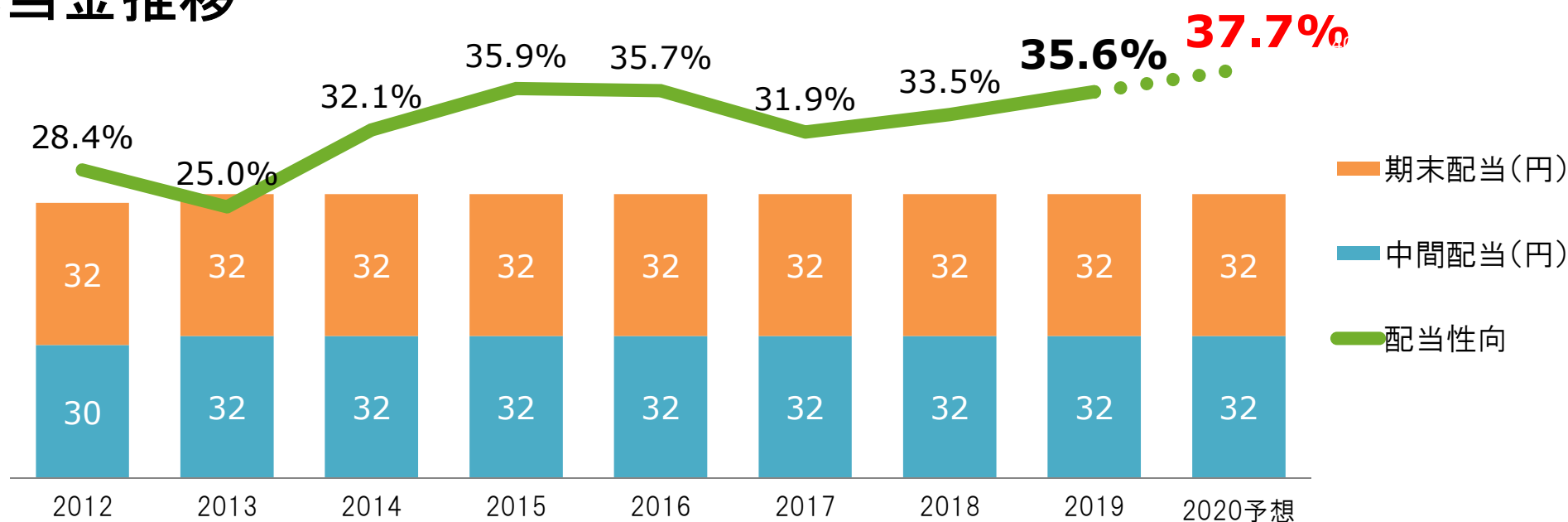
COVID-19の収束時期を正確に見通すことが困難なため、上記業績予想にはCOVID-19による影響を反映しておりません。仮に感染拡大が、4月から6月をピークとして徐々に収束に向かった場合と継続した場合を想定し、売上高へのマイナス影響を2~4%と予測しますが、長期化した場合等、状況に変化が生じた際には、適時・適切な開示を実施いたします。

株主還元

方針

- “漢方”事業の持続的な拡大と中国事業の成長投資および基盤構築を通じて、企業価値の向上を図る
- 中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況等を勘案し、安定配当を実施する

配当金推移



(注)2019年度の期末配当金および配当性向(予想)は、第84回定時株主総会による配当議案が決議された場合の数値を記載

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社ツムラ

コーポレート・コミュニケーション室

広報グループ

IR推進グループ

TEL:03-6361-7100

TEL:03-6361-7101

見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 現在発売している主要製品が、万が一製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。